

## 空間的データを利用した地域マネジメント支援システムの構築

情報科学研究科 川向 肇



## キーワード

OpenData DX 地域組織 農業 病害獣 空間分析

## 研究概要

近年、国土交通省、農林水産省、環境省など国の組織、都道府県や市区町村など地方自治体から、多数の空間的データが提供されるようになってきた。とはいえ、それらのデータを実用的に利活用するためには、いくつかの壁が存在する。データを単体で利用することによっては得られない空間領域(具体的には、地域社会や市町村)の現実の構造や課題などの理解を深めるためにできる。このため、提供元が異なる複数のデータを相補的に利用しつつ、空間的な現実課題の解決策を考えるための教育、研究を実施している。また、オープンデータの利用だけでなく、必要に応じて、独自にデータ構築を行い、オープンソースのフリーウェアなどを活用した視覚化に着目したシステム構築や業務支援、システム利用のためのガイダンス、応用範囲として農作物への害虫等の出現情報の視覚化の研究も実施している。

## アピールポイント

課題解決にあたっては、相談者の抱える問題を一般システム理論に立脚した方法論に立ち、多様な側面に配慮しつつデータ収集や表現方法を検討し、県内のいくつかのJA及びJA出資法人の抱える課題に対し、地域社会の多様なステークホルダーの視点を含めたソリューションを提示してきた。

## 応用分野

自治体DX・農事法人の運営のDX化・学校などのDX化とそれらそれらの関係組織における業務の効率化と効果の測定

